

広報

いちき串木野

愛がっぱいのまち

Ichikushikino City

Public Relations

10

2019年10月21日発行
VOL.168



朝晩だいぶ涼しくなり、秋の気配を感じる今日この頃…。おごじょ畑では、いよいよ「秋の種蒔きシーズン」スタートです♪

～ホウレン草、菜っ葉、小松菜、etc…♪～ 秋の種蒔き作業(9月4日)



毎日のお料理に欠かせない葉物野菜。メインディッシュのお供に添えると、味を引き立て、栄養もある「名脇役」です！

そんな葉物野菜は、種蒔きから収穫までの期間が比較的短く、ちょっとしたスペースでも栽培することができます。

種蒔きに挑戦したおごじょ達ですが、小さな種を一粒ずつ手に取り、一列に蒔くのは至難の業！どこに何を蒔いたか分からない状態に…(>_<)！どこから何の芽が顔を出すか…ドキドキワクワクです。

小さな種を、小さな手で上手に蒔きました(*^_^*)

タマネギの種蒔き前に…

太陽熱による土壌消毒(9月18日)

太陽熱消毒とは、種蒔き前にマルチシートを貼ることで、地温を高温にし、土壌中にある雑草の種や雑菌を熱で消毒する方法です。除草剤などを使わなくてもある程度雑草が抑えられるそうです♪

この作業、マルチシートが太陽光に反射してかなり眩しい(>_<)！大がかりな作業も、大人数であれば、あっという間の作業となりました(*^_^*)



かわいい芽が顔を出したよ♪

間引き作業(9月18日)



真っ直ぐ蒔いたつもりが…!?

予想通り、ジグザグでバラバラですが…かわいい芽が顔を出しました。

今度は、せっかく出た芽を、間引く作業が待っています。「ん～この葉かな？」と迷いながら間引くおごじょ達。残した葉には「大きくなあれ！」と想いを残し、間引いた葉は、今夜の夕食の付け合せに♪あれこれ献立を考えるおごじょ達でした(^_^)



どの芽を間引くか悩めます(+_+)

それから2週間

おごじょ米スクスクと♪



すっかり黄金色に色づいた荒川のおごじょ米！いよいよ次回は稲刈りです♪

食彩だより

海・山など自然に囲まれ、様々な食材・食文化に恵まれたいちき串木野市の食に関わる情報をお伝えします！

給食センター(☎33-0239)

まぐろ

10月10日はまぐろの日

まぐろの日は日本最古の和歌集「万葉集」に収められている歌に由来します。西暦726年10月10日、山部赤人という奈良時代の歌人が、聖武天皇のお供をして兵庫県明石地方を訪れた際、まぐろ漁で活気づいている様子を歌に詠みました。それが後世に残り、日本かつお・まぐろ漁業協同組合が1986年に10月10日をまぐろの日と制定しました。



鹿児島まぐろ船主協会・鹿児島まぐろ同友会など3団体のご協力により、10月10日のまぐろの日に合わせて、市内の子どもたちにまぐろを食べてもらおうと、10月3日、学校給食にまぐろを使ったメニューを提供しました。

同日、羽島小学校では、鹿児島まぐろ同友会が出前授業で、遠洋まぐろ漁業の様子を紹介したり、まぐろ漁の疑似体験などを行いました。その後、子どもたちと一緒に給食を食べて、交流しました。



いくつあてはまりますか？

1つでも当てはまると歯周病(静かなる病気)の疑いがあります。

歯がグラグラする

歯ぐきが腫れてうみが出てきた

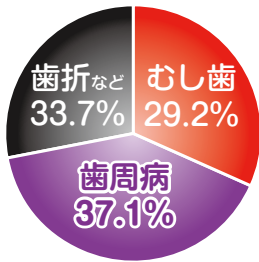
歯みがきのときに歯ぐきから血が出る

歯ぐきが下がってすき間が空いてきた

口臭が気になる

これらは歯周病の代表的な自覚症状です。

2018年6月実施
永久歯の抜歯原因調査

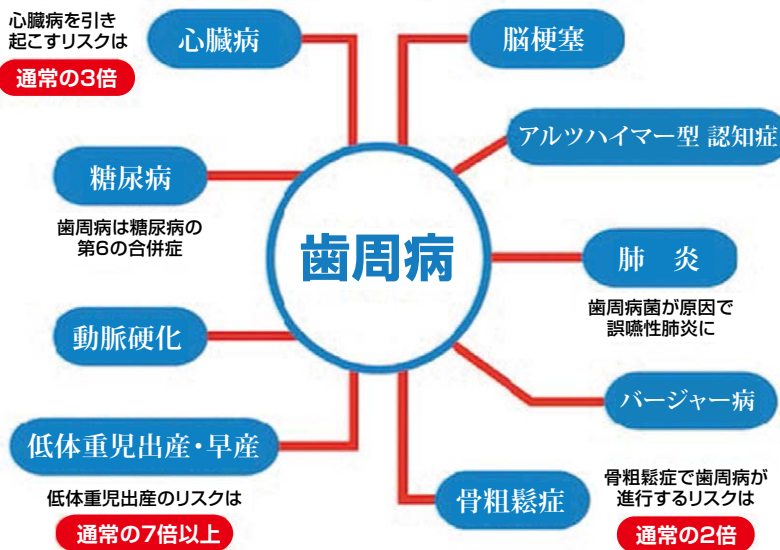


公益財団法人 8020 推進財団

成人の8割が歯周病

『歯科医院は歯が痛くなってから行く』と考えている方もいますが、歯周病が非常に厄介なのは痛みなく進行していくところです。痛みがでてからでは、かなり悪化しています。毎食後に歯磨きをしても、磨き残しからむし歯や歯周病になります。身体は休んでいても口の中の細菌は休みません。就寝中は活発に口の中の細菌が増えています。

歯周病は万病のもと



いいは **11月8日の日**

口の中の状態が全身疾患と関係し、健康寿命に大きな影響を与えています。半年に1回歯科受診をしましょう。



* 歯周病健診のお知らせ *

40、50、60、70歳の節目年齢(R2.4.1時点)の方を対象に歯周病健診を実施しています。受診期間は、11月30日までです。

対象の方には文書で案内しています。この機会に早めに受診ください。

まちの話題

小学生バドミントン全国3位



市来小4年の原口倅歩さんが、8月に熊本県で行われた全国小学生ABCバドミントン大会で第3位となりました。

予選グループから準々決勝まで1セットも落とさない試合を続けていた原口さんは、優勝した選手との準決勝でも先に1セットを奪いましたが、その後逆転を許してしまいました。

次は10月に佐賀で行われる九州大会に出場し、12月の全国大会への出場を目指しています。「12月の大会では優勝したい」と意気込みを語りました。

今後の活躍が期待されます。

ミナミマグロ水揚げ



9月13日、串木野漁港外港でミナミマグロなど約3トンが水揚げされました。

この日水揚げしたのは島平第一漁業生産組合の第二松榮丸で、約1年ぶりの水揚げです。南アフリカケープタウン沖で獲れたミナミマグロ、キハダマグロなどを次々とクレーンを使い冷凍車に積み込みました。

水揚げされたマグロは「まぐろの館」で提供されます。



笑顔ひろがる 生福かかし祭り



生福保育所前の県道沿いで、8月11日から9月12日まで、第7回生福かかし祭りが開催されました。

これは、生福地区まちづくり協議会が地域の潤いづくりなど地域活性化のため、毎年開催しています。今年は、スポーツ選手や芸能人、五右衛門風呂など幅広い内容で64作品が出展。来場者は、力作揃いの作品を笑顔で楽しみながら審査していました。

また、9月1日には旧JA生福支所で生福市も開催され、地域おこしに取り組む「黒にんにく」や、地元農産物などがならび、終日にぎわいました。



虫追踊



台風一過でよく晴れた9月23日、大里地区に虫追踊の太鼓と鉦の音が響き渡りました。

戦国時代に馬が稲株につまずき、斎藤別当実盛という武将が討たれたことで怨念が害虫となって悪さをするという言い伝えから、それを鎮めるために虫追踊が行われるようになったといわれています。

踊り手は、太鼓と鉦でリズムカルに音を鳴らしながら元気よく踊りを披露していました。



まぐろの魅力を PR まぐろ料理・スイーツコンテスト



9月21日、まぐろの館で「まぐろ料理・スイーツコンテスト」が開催されました。

これは、まぐろの館が開館6年目を迎えることを記念し、食のまちづくりにつながればと新洋水産有限会社がまぐろを使用した料理とスイーツの2部門でコンテストを企画したものです。当日は、予選を勝ち抜いた各部門5組が、調理方法や料理への思いなどをPRし、グランプリを目指しました。審査員からは、「まぐろの色を大切に」「斬新さがいい」「魚が嫌いな人に食べてもらえる工夫を」など、細かなアドバイスを受けていました。

コンテストを企画した新洋水産有限会社代表取締役社長の松元要さんは、「これからも鹿児島島の食材を生かし、健康にやさしい食を提供していきたい」と話しました。

【料理部門グランプリ】

「三角マグロパイ」

神村学園高等部 調理科 1年
東風音さん ・ 上橋京和さん
袈川柚香さん ・ 上城優那さん



【スイーツ部門グランプリ】

「Mallegro(マレグロ)パフェ」

鹿児島城西高等学校 普通科
パティシエコース 3年
梶松沙代さん ・ 砂川玲奈さん



日本遺産「串木野麓」を知事が訪問



8月31日に串木野麓を三反園知事が訪問しました。今回の訪問は、いちき串木野市を含む県内9市の麓が5月20日に日本遺産「薩摩の武士が生きた町」に認定されたことを受けて実施されたものです。

構成文化財である旧入来邸武家屋敷など串木野麓周辺を視察した後に、麓公民館で地域住民との意見交換も行われました。

身近に感じる一流の芸術



9月9日、串木野西中学校で文化芸術による子供の育成事業としてテレマン室内オーケストラによるバロック音楽の演奏が行われ、一流の芸術に触れる機会となりました。

前半は演奏を交えながらチェロ、コントラバスなどの弦楽器や、ピッコロ、トランペットなどの金管楽器についての紹介がありました。

後半は協奏曲をまるごと1曲演奏したり、校歌をオーケストラの演奏で歌ったりするなど、プロの演奏を間近で聞くことのできる貴重な体験となりました。

建築士の日ボランティア作業



8月24日、鹿児島県建築士会日置いちき串木野支部青年部10名が、羽島中学校プールの老朽化したブロック塀を撤去し、モルタルできれいに仕上げました。(社)日本建築士会は7月1日を建築士の日と定めており、同支部では、例年夏休みに管内2市の学校・幼稚園の愛校作業を行っています。

ありがとうございました。

マリンビーチフェスタ



8月25日、照島海岸で第17回マリンビーチフェスタ in いちき串木野が開催されました。これは、市来若者隊が主催したもので、県内外から28チームが参加し、参加者はビーチバレーやビーチフラッグを楽しみました。

市長旗争奪ナイターソフトボール大会



8月19日から28日にかけて、第35回公民館対抗市長旗争奪ナイターソフトボール大会が多目的グラウンドで開催されました。大会には13チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

- 優勝 羽島チーム
- 準優勝 平向公民館
- 三位 大原南公民館、袴田公民館

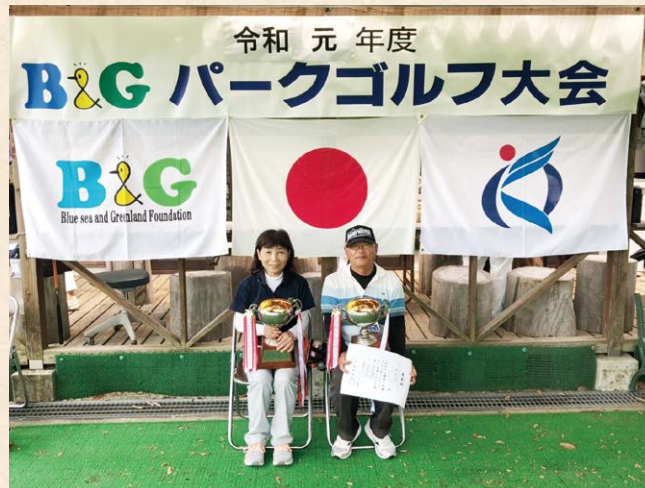
公民館対抗壮年バレーボール大会



第40回公民館対抗壮年バレーボール大会が、9月18日から20日にかけて市来体育館で開催されました。

- Aクラス(4チーム)
優勝 崎野・戸崎公民館 準優勝 平向公民館
- Bクラス(4チーム)
優勝 駅前公民館 準優勝 川上地区公民館

第12回 B&G 杯パークゴルフ大会



9月1日、第12回 B&G 杯パークゴルフ大会が開催され、熱戦が繰り広げられました。

- 男性の部 優勝 出水 功男(94)
 準優勝 藤田 久二(98)
 第3位 亀崎 元(99)
- 女性の部 優勝 藤田 由美子(97)
 準優勝 花立 好子(102)
 第3位 濱崎 いづみ(124)
(カッコ内数字はスコア)

第12回いちき串木野市長杯パークゴルフ大会



9月7日、第12回いちき串木野市長杯パークゴルフ大会が開催されました。県内から95名の参加があり、熱戦が繰り広げられました。

- 男性の部 優勝 川崎 力(94)
 準優勝 堤 富雄(94)
 第3位 橋口 宏(95)
- 女性の部 優勝 藤田 由美子(99)
 準優勝 永原 満子(101)
 第3位 今村 暎子(102)
(カッコ内数字は、スコア)

市政 CIVIC NEWS ニュース

市ではこんなことをしています



ソラシドエア協定調印式

観光交流課 (☎33-5640)



9月13日、株式会社ソラシドエアとの運航終了式及び包括的連携協定調印式を行いました。

昨年9月からいちき串木野市のロゴ等をラッピングした「うんまか！つけあげいちき串木野号」が8月末をもって運航を終了しました。

また、今後の観光、産業、文化の振興に関することや災害時の輸送協力など様々な分野で連携を図り、相互に協力することを目的として包括的連携協定を締結しました。

集団災害事故時の連携を確認

消防本部 (☎32-0119)



9月13日、神村学園専修学校で爆発火災が発生し、負傷者が多数発生したとの想定で、医師会・消防署・市役所・学校関係者など約130名が参加し、多数傷病者発生時の重症度判別や応急救護、情報伝達、各機関の連携など実践的な訓練を実施しました。

今回、初めての試みとして、看護学科生及び日本語学科生がムラージュと呼ばれる模擬創傷等の特殊メイクを施し、負傷者役として参加しました。参加した学生からは、「傷病者の気持ちを知ることができ、良い経験になった」「将来、看護師になるための参考になった」といった意見が多く聞かれ、有意義な訓練となりました。

「若者へ 旅に出よう」 薩摩藩英国留学生記念館で激論

観光交流課 (☎33-5640)



9月14日、薩摩藩英国留学生記念館の5周年記念イベント「アニバーサリー フェスタ」が開催されました。

イベントでは、各分野の専門家などがパネリストとなり、体験談などを交え若者に向けた「旅」への熱いトークで激論を展開。海外からのパネリストも中継で参加し、旅をすることについて、「人生に与える影響が大きい」「多くの人との出会いが大切」「人としての成長につながる」「自分を見つける旅をしてほしい」など、多くの熱いメッセージが語られました。

パネリストとして参加した神村学園高等部2年の安藤りんさんは、「海外に行く機会があればぜひ現地の文化にふれてほしい」と同世代へ向けたメッセージを送りました。

当日は、地元物産を販売するマルシェや記念館内を舞台にしたすごろく大会なども開かれ、終日賑わいました。

長寿を祝う 敬老訪問

福祉課 (☎33-5619)



左から塩屋タ子さん(105歳)、今村ヒデさん(101歳)

9月13日、市内の高齢者を対象に、敬老訪問を行いました。

市では毎年、9月1日現在で満80歳・88歳・90歳・95歳・100歳以上の方に、長寿祝金等を贈っています。今年は808名の方にお祝いを贈りました。

いつまでもお元気で長生きしてください。

オリバー先生 よろしくお願ひします

学校教育課(☎21-5127)



市内公立小・中学校で英語の授業のサポートをするため、新しいALT(外国語指導助手)として、イギリスから、オリバー・ウィリアムさんが8月に着任しました。すでに9月から、主に市内の中学校で英語の指導をしています。オリバー先生は、日本のことについてかなり勉強しており、日本語も少し話すことができます。オリバー先生に出会った時は、日本語でも英語でもいいので、ぜひ話しかけてみてください。

オリバー先生から

「はじめまして。オリバーです。イギリスのバースから来ました。いちき串木野に住み、英語を教えることを楽しみにしていました。あらゆる日本文化に触れたいです。また、イギリスのことを皆さんにもっと紹介したいです。私は、日英の歴史関係が大好きで、こうして国際交流を継続できることをうれしく思います。日本にお招きいただきありがとうございます」

10月はシルバー人材センター 事業普及啓発促進月間です

福祉課(☎33-5619)

シルバー人材センターでは「働くことを通じて健康と生きがいを得たい・地域社会に貢献したい・元気なうちは生涯現役でいたい」等の目的で全国各地で約73万人もの会員が元気に働いています。

少子高齢化の進展により、労働力人口の大幅な減少が見込まれるなかで、確かな技術・豊かな経験を持つ、健康で働く意欲のある高齢者が福祉を支え社会を支える側にたち、地域に貢献することが益々重要となっています。

随時、会員募集中(毎月第1水曜日は入会説明会)



- 就業事例
ふるさと見守りサービス
(墓の掃除花替)

○問合せ 公益社団法人いちき串木野市シルバー人材センター ☎32-9000 FAX33-2266

自殺予防週間街頭キャンペーンを 実施しました

串木野健康増進センター(☎33-3450)



市ではニシムタ串木野店の協力で9月11日に自殺予防街頭キャンペーンを実施しました。

相談場所や連絡先などを記載した自殺予防対策グッズを来店者250人に配布しました。

○あなたにも出来る自殺予防のための行動

- 1 気づく
家族や仲間の変化に気づいて、声をかけましょう。
- 2 真剣に話を聞く
相手の話や気持ちをじっくり聞きましょう。
- 3 つなぐ
難しい問題は早めに専門家に相談しましょう。
- 4 見守る
温かく寄り添い、じっくりと見守りましょう。

公立小・中学校、幼稚園に 空調設備を整備しました

教育委員会総務課(☎21-5126)



羽島小学校

市内の公立全小・中学校、幼稚園(9小学校、5中学校、2幼稚園)の普通教室、職員室などに、昨年度から今年度にかけて、空調設備を整備しました。

この整備により学校環境の改善が図られ、児童・生徒はより快適な学校生活を過ごすことができるようになりました。

安定ヨウ素剤について

まちづくり防災課(☎33-5631)

もしも川内原子力発電所で災害が発生し、全面緊急事態となった場合、本市全域が含まれるU P Z (原子力発電所から概ね5～30km) 圏内では、市の指示に基づいて、速やかに自宅に戻るか、近くの公共施設等に退避することになります。

これは、放出された放射性物質が通過する時に屋外で行動することで、被ばくすることを防ぐためです。

屋内退避をしたのち、必要に応じて避難や一時移転等をする際に、安定ヨウ素剤を緊急配布することとなります。

Q. 安定ヨウ素剤とは？

A. 原子力災害発生時に服用することにより、原子力発電所から放出される放射性物質のうち、放射性ヨウ素による内部被ばくを抑える効果がある医療用医薬品です。なお、安定ヨウ素剤の服用により、副作用が生じる可能性がありますので、詳しくは、かかりつけの医師等へ相談が必要です。



【安定ヨウ素剤】

Q. いつ服用するの？

A. 安定ヨウ素剤の服用のタイミングについては、原子力規制委員会が判断し、県や市が指示します。服用回数は、原則1回です。効果は約24時間持続します。2回目以降の服用については、特別な指示がない限り、服用せず避難することが優先されます。

Q. 事前配布を受けるには？

A. 鹿児島県では、もしもの原子力災害時に、病気や障がい等により緊急時の受け取りが困難であるなど一定の要件に該当し、希望する方に事前配布を行うこととしています。本市では、9月上旬に配布した安定ヨウ素剤事前配布申請書で申請した方に対して配布説明会が行われ、安定ヨウ素剤が事前配布されます。

なお、申請した方への安定ヨウ素剤の配布説明会が計画されていますので、日程が決まり次第お知らせします。

Q. 保管するとき、注意することは？

A. 安定ヨウ素剤は、直射日光のあたらない、湿気の少ないところに保管します。温度が高い場所に長期間放置することは避けましょう。また、他人には渡さず、ご自分で保管してください。

配布済みの安定ヨウ素剤の有効期限が近づいたら、県からお知らせしますので、配布説明会に参加いただき、新しいものと交換してください。

第5回 いちき串木野市フォトコンテスト

テーマ

「想い」

■募集期間 令和2年1月1日(水)～1月31日(金)
詳しくは、次回広報紙でお知らせします

写真家 下菌詠子と撮る ポートレート撮影会参加者募集

- 日 時 11月23日(土) 14:00～17:00
- 場 所 照島海岸周辺
- 参加費 3,000円
- モデル 小木戸 利光 氏
- 募集数 20名(応募多数の場合抽選)
- 募集期限 11月15日(金)
- 申込・問合せ 政策課 ☎33-5672

市「フォトコンテスト2019」の一環として撮影会を開催します。講師は写真家の下菌詠子氏です。



メール

モデルプロフィール

小木戸 利光(こきど としみつ)
【アーティスト、Theatre for Peace and Conflict Resolution (TPCR) 代表。イギリス ノーザンブリア大学 演劇・パフォーマンス科 修了】



「世界の声なき声に耳を澄ます」をテーマに、アーティストとして、音楽、文芸、パフォーマンス作品を発表するほか、俳優として、映画、ドラマ、舞台に出演。主な出演作にNHK「あんととき、」(主演)、TBS「報道特集」。平和教育の普及を目的としたTPCR代表、シアターワークの実践家として、国内外の教育機関や企業にて演劇や芸術表現手法をもとにした芸術療法を施し、グローバルに活躍している。講義歴に早稲田大学、スタンフォード大学など。